連帯と祈り

ウクライナの障害のあるへ

戦争は、障害者を邪魔ものにする

戦争は、障害者を置き去りにする

戦争は、優生思想をかきたてる

大量の障害者をつくり出す最大の悪、それが戦争

朝一番のニュースを恐る恐る

キエフの包囲網がまた狭まった

教会も文化財も悲鳴を上げて崩れ落ちる

禁じ手がにされ原子力発電所から火の手

殺し合いでなく話し合いを

侵攻でなく停戦を

停戦でなく平和を

青い空と黄色の豊作に似合うのは平和

私たちは祈ります

西北西の方角をじっとみつめながら

心の中から希望が切り離されないように

とにかく生き延びてほしい

戦争は、障害をたちどころに重くする

戦争は、障害者の尊厳を軽々と奪い去る

戦争は、障害者の明日を真っ黒に塗りたくる

早いうちに、否、この瞬間に終わらせなければ

もう一度くり返す

とにかく生き延びてほしい

たとえ、食べ物を盗んでも

たとえ、敵兵に救いを乞うてでも

遠い遠い、でも魂はすぐの日本より

ふじいかつのり（NPO法人日本障害者協議会）